

防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
(中間案)

平成27年7月

# 目次

I	総合戦略の策定にあたって	
1	総合戦略策定の趣旨	1
2	総合戦略の位置づけ	1
3	総合戦略の計画期間	1
4	総合戦略の基本目標と数値目標	2
5	体系図	4
II	具体的な施策の展開	
1	産業振興による新たな雇用の創出	5
2	防府市への人材の定着・還流・移住の推進	11
3	若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造	15
4	元気みなぎるコンパクトシティの形成	19
III	総合戦略の推進体制等	
1	総合戦略の推進体制	25
2	総合戦略の進行管理	25

# I 総合戦略の策定にあたって

## 1 総合戦略策定の趣旨

日本の人口は、平成20年（2008年）をピークに減少に転じ、今後、加速度的に減少していくと推計されています。年齢3区別にみると、年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口は増加していくことから、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小や老年人口の増加による社会保障費の増大など、社会経済に多大な影響を及ぼすことが考えられます。

このような流れの中、国は、平成26年11月に施行した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、日本全体の人口の将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5年間の目標と施策の基本的方向や具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することとしています。

本市においても、平成8年（1996年）をピークに人口は減少に転じており、国と同様に、今後、年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口は増加していくことが推計されています。このため、「防府市まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、人口減少の克服と将来にわたって活力あるまちを維持していくための取組を推進していきます。

## 2 総合戦略の位置づけ

総合戦略は、本市の最上位計画である「第四次防府市総合計画（防府まちづくりプラン2020）」の中に位置づけられ、人口減少という課題に正面から向き合い、将来にわたり持続的に発展していく「人・まち・元気 誇り高き文化産業都市 防府」の実現を確かなものとするための施策として推進するものです。

## 3 総合戦略の計画期間

総合戦略の期間は、平成27年度（2015年度）から平成31年度（2019年度）までの5年間とします。

#### 4 総合戦略の基本目標と数値目標

防府市人口ビジョンを受けて、次の4つの基本目標を柱に、人口減少克服と将来にわたって活力あるまちを維持していくための取組を戦略的に進めていきます。

##### 【基本目標1】 産業振興による新たな雇用の創出

本市の総人口は近年、横ばいで推移していますが、年齢3区分別の人口の推移を見ると、年少人口と生産年齢人口が減少し老年人口が増加しています。特に生産年齢人口は産業を支える重要な働き手であり、生産年齢人口がそのまま減少すると、将来にわたり活力ある地域社会を維持することは厳しくなることが懸念されます。このため、生産年齢人口の減少に歯止めをかける必要があります。本市の特性を活かした企業誘致活動や市内企業、創業者への積極的な支援により、新たな雇いを創出します。

また、観光や農林水産業など、本市の特性を活かした産業振興により「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ好循環の確立を目指します。

##### 【数値目標】

項目	現状値	目標値
雇用創出数		

##### 【基本目標2】 防府市への人材の定着・還流・移住の促進

本市の人口の社会動態は、景気動向に左右される形で社会増と減の波があり、平成25年(2013年)、平成26年(2014年)は、本市の経済と雇用を牽引する自動車関連産業の好転などから社会増となっています。国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計においても、社会増が見込まれていますが、若者が進学時や就職時に転出していく状況は続いていることから、「産業振興による雇用の創出」と一体となって、若者を中心とした人材の定着・還流・移住の流れを創りだしていくことが重要です。

このため、高校生や地元大学生等に対して、市内の高校や県内大学等と連携して本市企業等の個性や魅力を伝える取組を強化し、本市への定着を促進するとともに、県外進学者等に対する就職支援体制を整え、若者の還流を促進します。

また、首都圏等の移住希望者に対して、本市の魅力や移住情報等を積極的にPRすることで、本市に幅広い人材を呼び込む取組を進めます。

##### 【数値目標】

項目	現状値	目標値
人口社会増		

### 【基本目標3】 若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造

本市の合計特殊出生率は、近年上昇傾向にありますが、出生数は横ばいで推移しており、若年女性人口が減少傾向にあること、また、未婚化・晩婚化が進んでいることから、今後、年少人口はさらに減少していくことが予想されます。

本市が実施した「結婚・出産・子育てに関する市民アンケート調査」の結果から、若い世代の結婚・出産・子育てに対する希望と現状の間にはギャップがみられることから、若い世代の希望を実現し、結婚や子育てに夢や喜びを持てる社会をつくることが重要です。

このため、若い世代が安心して働ける環境の整備や、結婚、妊娠・出産、子育てに対する切れ目のない支援、子育て世帯の経済的負担の軽減など、子育てしやすい環境づくりを進めるとともに、次代を担う子どもたちを育む教育環境の充実に取り組みます。

#### 【数値目標】

項目	現状値	目標値
合計特殊出生率		

### 【基本目標4】 元気なぎるコンパクトシティの形成

本市の将来人口は、現状のままの社会増で推移し、合計特殊出生率が上昇したとしても、人口減少が進むことが見込まれます。既に本市の周辺地域では高齢化率が40%を超え、人口減少が急速に進行しているところもあり、将来の人口の見通しを適切に踏まえ、限られた資源の効率化が図られた、将来にわたり持続的に発展していく地域社会を構築していくことが必要です。

このため、地域との交通ネットワークが形成された活力ある都市核づくり、学校を核とした地域コミュニティの活性化、公共施設マネジメントの推進など、人口減少社会を見据えて、子どもや高齢者をはじめ誰もが元気に活動できるコンパクトな都市の形成を進め、「しごと」と「ひと」の好循環の確立を支える「まち」の実現を目指します。

#### 【数値目標】

項目	現状値	目標値
防府市に住み続けたいと思う人の割合		

## 5 体系図

【基本目標1】産業振興による新たな雇用の創出		
	(1) 防府市の特性を活かした産業力の強化	
	① 企業誘致の推進	
	② 重要港湾三田尻中関港の機能強化	
	③ 地場産業・既存中小企業の育成	
	④ 創業しやすい環境づくり	
	(2) 第一次産業の担い手育成と経営基盤の強化	
	① 農業の担い手育成と経営基盤の強化	
	② 地元水産物の消費拡大の推進と担い手育成	
	(3) 防府ブランド“幸せます”を核とした観光振興	
	① 観光まちづくり体制の整備	
	② 明治維新150年を契機とした観光需要の拡大	
	③ クルーズによる交流人口の拡大	
【基本目標2】防府市への人材の定着・還流・移住の推進		
	(1) 防府市への定住に向けた市内就職の促進	
	① 地元学生等への就職機会の拡大	
	② 高齢者や障害者等への就労に向けた支援	
	(2) 防府市への移住促進	
	① 県外大学生等の防府市への就職の促進	
	② 幅広い世代に対する還流・移住の促進	
	③ 教育関連施設や企業等の防府市への移転促進	
	【基本目標3】若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造	
		(1) 「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府」の実現
① 若い世代の経済的安定と結婚支援		
② 安心して子どもを産み育てられる環境づくり		
③ 子育て家庭に対する経済的支援		
(2) 「学ぶなら防府」の実現		
① 地域とともにある学校づくりの推進		
② 次代を拓く児童生徒の「学ぶ力」の育成		
【基本目標4】元気みなぎるコンパクトシティの形成		
	(1) 活力ある都市核づくりと地域を繋ぐ交通ネットワーク形成	
	① 活力のある都市核づくりの推進	
	② 都市核と地域を繋ぐ交通ネットワーク形成	
	(2) 地域コミュニティの活性化	
	① 学校を核とした地域づくりと多世代家族形成の推進	
	② 中山間地域等におけるコミュニティの活性化	
	(3) 安心して暮らせる基盤づくりの推進	
	① 地域包括ケアシステムの構築	
	(4) 次代に繋ぐ効率的な都市基盤の形成	
	① ストックマネジメントの強化	
	② 自助・共助によるまちの活性化を支える人材づくり	
	③ 産・学・金との連携や広域連携の推進	

## Ⅱ 具体的な施策の展開

### 【基本目標 1】 産業振興による新たな雇用の創出

#### 基本的方向

- 本市は、県内最大の平野を有し、臨海部には自動車関連産業を中心とした工業地帯が形成されています。諸外国との物流拠点である重要港湾三田尻中関港を有するとともに、一級河川「佐波川」の豊富な水資源に恵まれ、地震が少なく気候も温暖であり、企業立地に適した条件を備えています。

このような特性を活かした企業誘致活動を行うとともに、市内企業の成長促進、創業者に対する各種支援を関係機関等と連携して行うことで、働き手である生産年齢人口の確保に努め、産業力の強化を図ります。

特に、山口県瀬戸内側の中心に位置する重要港湾三田尻中関港は、物流拠点港湾としての機能に加え、水産振興や広域観光の核として複合的な機能強化を促進することで、多様な交流を創出します。

- 本市の第一次産業は従事者の減少や高齢化、後継者不足が課題となっています。将来にわたり第一次産業を維持するため、担い手の育成や支援に加え、経営基盤の強化を図ります。また、経営の安定化を図るため、6次産業化の取組を支援します。

- 大河ドラマ“花燃ゆ”の舞台となったことで本市の知名度は向上し、一時的な交流人口の増加が見られますが、今後、明治維新150年を契機とした更なる交流人口の拡大を図ります。そのため、防府ブランド“幸せます”を中心としたシティプロモーション等による情報発信や着地型旅行商品の開発に取り組み、“住んでよし、訪れてよし”の観光まちづくりを推進します。また、本市が全国に先駆けて実施したオフルート・クルーズ等を充実するとともに、大型クルーズ船の誘致による交流人口の拡大に取り組みます。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

※KPIは未掲載です。

(1) 防府市の特性を活かした産業力の強化

①企業誘致の推進

トップセールス等の情報発信により、県外等の優良企業に対して本市の特性を活かした企業誘致活動を行うとともに、企業用地の確保や企業立地奨励制度の充実など、進出企業の視点を大切に企業誘致を推進します。

また、今後の戦略的な産業振興に向けて、大学等との連携による地域経済分析を行います。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 戦略的な誘致活動 (関係機関との定期的な意見交換や工場適地情報の提供)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業立地奨励制度の充実 (工場等設置奨励金、用地取得奨励金、雇用奨励金、工場等設置資金融資制度の対象業種等の見直しによる支援の充実)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本社機能等の移転に向けた誘致活動 (本社機能等の移転に係る支援制度の創設)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 産業振興に向けた地域経済分析 (大学等との連携による地域経済分析の実施)</li> </ul>

②重要港湾三田尻中関港の機能強化

重要港湾三田尻中関港における中関地区は、県と連携し、ガントリークレーンの増設や埠頭用地等の整備を促進することで、「物流のみなと」を推進します。三田尻地区の一部が「みなとオアシス三田尻」として本登録され、その核となる施設である水産総合交流施設「潮彩市場防府」が道の駅に認定されました。この「潮彩市場防府」を水産振興や広域観光の核として複合的な機能強化を促進することで、多様な交流を創出します。

また、港湾施設へのアクセス向上に向けて、道路網の整備等を促進します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中関地区の整備促進 (ガントリークレーンの増設、埠頭用地の整備、泊地の浚渫等)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 三田尻地区の整備促進 (緑地の整備、耐震岸壁の整備、泊地の浚渫等)</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道防府環状線の整備促進 (港湾施設へのアクセス向上)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮彩市場防府の魅力向上 (情報発信や誘客向上のための施設整備)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフルート・クルーズ等の充実 (旅行業者等と連携してレインボーあかね等を活用したクルーズの充実)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型クルーズ船の誘致 (産業観光や明治維新150年イベントの売込みによる大型クルーズ船の誘致促進)</li> </ul>

### ③地場産業・既存中小企業の育成

防府商工会議所や山口・防府地域工芸・地場産業振興センターを中心に、中小企業者の意欲的な事業展開の促進や、人材育成等を図るとともに、企業が必要とする人材の確保を支援します。また、地元製造品の地元普及率の向上を促進します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・売れるものづくり支援の充実 (市内の中小企業者等が行う新商品・新技術の開発事業や販路拡大の支援を充実)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業地域の活性化と雇用の促進 (商業地域へ事業所の新設・移設への支援、空き店舗に対する支援、まちなか店舗リフォーム助成、事業所誘致活動)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元製造品の地元普及率の向上 (地元製造品の地元普及率を向上させるための支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロフェッショナル人材の確保 (企業が必要とする人材のお試し就業中の諸費用補助等)</li> </ul>

### ④創業しやすい環境づくり

防府商工会議所、金融機関、日本政策金融公庫、山口信用保証協会、まちづくり防府等と連携して、創業に関する各種支援を行い、「創業するなら防府市」の実現に向けて創業しやすい環境づくりを進めます。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援センターによる創業者に対する支援 (創業塾の開催、経営指導、事業費補助、融資等)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーションプログラムによる創業者支援 (専門家による創業後のきめ細かな支援)</li> </ul>

## (2) 第一次産業の担い手育成と経営基盤の強化

### ① 農業の担い手育成と経営基盤の強化

農業の担い手を育成するため、新規就農者へ経済的支援を行うとともに、山口県立農業大学校と連携した技術的支援を行います。また、集落営農法人等の育成により、経営基盤の強化を図ります。さらに、山口県の6次産業化・農商工連携の一体的な取組を活用する本市の意欲ある農業者に対して、新商品開発や販路開拓を支援することで経営の安定化を促進します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者・新規就農者への支援 (認定農業者の農業規模拡大支援や就農者定着のための総合的支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農法人等の育成 (就農者の受け皿となる集落営農法人化等の支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農産物を使用した6次産業化・ブランド化 (6次産業化・農商工連携の支援による商品開発や販路拡大)</li> </ul>

### ② 地元水産物の消費拡大の推進と担い手育成

水産業の振興を図るため、「つくり育てる漁業」への転換を推進するとともに、水産総合交流施設「潮彩市場防府」を活用して、防府市近海の水産物の認知度を高め、6次産業化商品やブランド力の強化を中心とした魚の消費拡大を図ります。また、漁業後継者の確保・定着を促進するため、ニューフィッシャーの育成を支援します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元水産物を使用した6次産業化・ブランド化 (6次産業化・農商工連携の支援による商品開発や販路拡大)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮彩市場防府の魅力向上(再掲) (情報発信や誘客向上のための施設整備)</li> </ul>

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューフィッシャーの育成支援<br/>(新規漁業者に漁具等の整備費用や自立するまでの生活費を補助)</li> </ul> |
|--|

(3) 防府ブランド“幸せます”を核とした観光振興

①観光まちづくり体制の整備

防府市観光協会を中心として、観光情報や旅行商品等を一元管理する観光まちづくり体制を整備し、観光客の利便性向上を図ることで交流人口の更なる拡大を図ります。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光まちづくりプラットフォームの整備 (観光情報や旅行商品等を一元管理するワンストップ窓口の整備)</li> </ul>

②明治維新150年を契機とした観光需要の拡大

防府ブランド“幸せます”を中心としたシティプロモーションの実施や山口県等と連携した「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築等により、本市の魅力为全国に発信することで、交流人口の拡大を図ります。併せて、着地型旅行商品の開発や誘客イベント等の企画、さらにインバウンドにも対応したおもてなし体制を整備します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・“幸せます”のまち防府のブランド化 (観光を中心としたシティプロモーション、防府ブランド“幸せます”の強化)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着地型旅行商品の造成 (本市ならではの着地型旅行商品の開発・強化)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治維新150年事業の推進 (明治維新をテーマとした情報発信強化、県や他市との連携による観光商品の開発、カフェの観光素材化、外国人目線での魅力の再発見によるインバウンド対応等)</li> </ul>

③クルーズによる交流人口の拡大

高速旅客船レインボーあかね等のドック入りを活用したオフルート・クルーズ等の充実により交流人口の拡大を図ります。

また、明治維新150年イベントや産業観光の開発等の売込みにより、大型クルーズ船の誘致を促進します。

取組内容等
・オフルート・クルーズ等の充実（再掲） （旅行者等と連携してレインボーあかね等を活用したクルーズの充実）
・大型クルーズ船の誘致（再掲） （産業観光や明治維新150年イベントの売込みによる大型クルーズ船の誘致促進）

## 【基本目標2】 防府市への人材の定着・還流・移住の推進

### 基本的方向

- 防府市内の高校生の市内企業への就職者数は平成21年度に大きく減少したものの、その後の景気回復に伴い、増加傾向となっています。しかし、同時に市外、県外への就職者数も増加しており、若者が、本市で就職し、定着できる環境を充実することが重要です。

このため、産業振興施策の展開で創出される雇用を活かし、企業や関係機関と一体となって、高校生や県内大学生等に対する本市企業の個性や魅力を伝える取組を充実するとともに、新規就職者の職場定着に対する支援体制を強化するなど、若者の地元定着を促進します。

また、若者だけではなく、働く意欲のある高齢者や障害者の就労を支援するため、肉体的、時間的負担の少ない就労等、多様な雇用形態の普及促進や職業能力開発機会の拡大に取り組みます。

- 大学進学時に県外に転出した若者の多くが、本市に戻ってこない状況が続いています。大学を卒業後に地元防府市で働きたいと思っている人が少しでも多く防府市で就職できるよう、大学進学者等に対する市内、県内の企業情報等の提供や、関係機関と連携した就職説明会の開催など、Uターン就職対策を強化し、若者の還流を促進します。

また、本市の知名度の向上を図るシティプロモーションの実施と併せて、山口県と連携した首都圏等での移住希望者に向けた情報発信や支援の充実等により、幅広い世代の移住を促進します。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

※KPIは未掲載です。

(1) 防府市への定住に向けた市内就職の促進

①地元学生等への就職機会の拡大

ハローワーク防府や防府商工会議所等と連携して、市内高校生や県内大学生等を対象とした市内企業による合同就職説明会の開催、インターンシップ受け入れ企業の拡大等による就職支援を行います。

また、就職後の若者の早期離職を防ぐため、市内中小企業の経営者等に対する人材育成研修や新規就業者を対象にコミュニケーション研修・個別相談の開催など、職場定着支援を充実します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生への市内企業の理解を深める就職支援 (高校生対象の合同就職説明会の開催、高校生のインターンシップ受け入れ企業の拡大)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の大学等と連携した市内企業への就職の促進 (県内大学生等を対象とした合同就職説明会の開催、大学生等のインターンシップ受け入れ企業の拡大)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内企業のPR強化 (市内企業の冊子の作成・配布)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者への職業的自立支援 (若者へのきめ細かな就職支援の実施)</li> </ul>

②高齢者や障害者等への就労に向けた支援

働く意欲のある高齢者や障害者等が、安心して働けるよう、シルバー人材センターの新就業分野の拡大に対する支援を行うなど、高齢者の就業機会の充実を図るとともに、企業に対する障害者雇用の啓発活動や障害者等に対する職業訓練実施により、企業への就労を促進します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センターを通じた就業機会の提供 (シルバー人材センターの新たな就業分野の拡大等の取組を支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の就労に向けた支援 (障害者就労ワークステーションでの職業訓練による就労支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域職業訓練センターの利用促進 (雇用ニーズに対応した職業訓練の実施)</li> </ul>

## (2) 防府市への移住促進

### ① 県外大学生等の防府市への就職の促進

防府市出身の学生やその保護者への市内、県内の就職に関する情報提供や、市内企業の人材確保のための取組等を支援し、防府市出身の大学生等や県外大学生等の防府市での就職を促進します。また、防府市出身の大学生等を対象とした定住促進の奨学金返還支援制度を創設し、確かな還流を目指します。

取組内容等
・ 大学生等への就職情報の発信 (高校卒業時に(仮称)就職支援バンクへ情報を登録)
・ 定住促進奨学金制度の充実 (一定要件により奨学金の返還を支援する制度の創設)
・ 市内企業の人材確保に対する支援 (有料求人サイトへの企業情報登録への補助、市内企業の合同就職説明会の開催、県外で行われる合同就職説明会等への参加促進)

### ② 幅広い世代に対する還流・移住の促進

山口県と連携し、首都圏等における移住フェア等に出展するなど、本市の魅力を発信する取組を強化するとともに、3世代同居・近居に対する新たな支援制度を設けるなど、本市への還流・移住を促進します。

また、防府ブランド“幸せます”をコンセプトにしたシティプロモーションなどにより、本市の知名度を上げていきます。

取組内容等
・ 防府市への移住促進 (移住プロモーションビデオの作成、移住パンフレットの作成、全国移住ナビへの登録、移住フェア等への出展)
・ 移住希望者へのきめ細かな対応 (現地紹介など)
・ 3世代同居・近居支援 (3世代の同居・近居への支援制度の創設)
・ コミュニティの活性化に向けた外部人材の移住促進 (地域おこし協力隊の活用)
・ プロフェッショナル人材の確保(再掲) (企業が必要とする人材のお試し就業中の諸費用補助等)

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• “幸せます” のまち防府のブランド化（再掲）<br/>（観光を中心としたシティプロモーション、防府ブランド “幸せます” の強化）</li> </ul> |
|---|

③教育関連施設や企業等の防府市への移転促進

航空自衛隊防府北基地・防府南基地の初等教育機関としての機能強化を国に対する要望等により促進するとともに、企業の本社機能や教育関連施設等の移転に向けた誘致活動を進めます。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 航空自衛隊防府北基地・防府南基地の初等教育機関の機能強化、教育関連施設等の立地の促進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本社機能等の移転に向けた誘致活動（再掲） （本社機能等の移転に係る支援制度の創設）</li> </ul>

### 【基本目標3】 若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造

#### 基本的方向

○ 本市における年少人口は、減少を続けており、その要因の一つとして、晩婚化・晩産化の進行が挙げられます。また、核家族化や共働き世帯の増加に伴う育児への負担や不安の増大や、医療費、教育費などの経済的な理由から、理想とする子どもの数を持ってないといった問題も生じています。

こうしたことから、若い世代が安心して結婚、出産、子育てできるよう、若者の雇用の安定や子育てしながら働ける環境の整備促進を図るとともに、結婚から子育てまでの切れ目のない支援、子育てにかかる経済的負担の軽減など、多様なニーズに対応したきめ細かな子育て支援を進め、だれもが子育ての喜び、楽しさを感じることができ、すべての子どもが健やかに成長できる「子どもの輝く笑顔夢を育むまち 防府」の実現を目指します。

○ 子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を醸成するため、地域の多様な人材や企業、文化財などの豊かな社会資源を活用した学習機会の充実を図り、学校が地域の人と人をつなぎ、まちづくりの原動力となるよう地域とともにある学校づくりを推進します。

また、グローバル化や高度情報化の進展など急激に変化する社会において、「主体的にたくましく生き抜く力」と「豊かな人間性」を備えた人材を育成するため、「学ぶなら防府」を合言葉に、主体的・協働的に学ぶ力を育む特色ある教育活動を展開します。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI） ※KPIは未掲載です。

(1)「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府」の実現

①若い世代の経済的安定と結婚支援

若い世代の希望をかなえ、安心して結婚、子育てができる労働環境づくりを進めるため、関係機関と連携し、事業者が実施する、非正規雇用から正規雇用への転換や、仕事と家庭の両立支援に向けた取組等に対する支援を行います。

また、結婚を希望する若者を応援するため、県が設置する「やまぐち結婚応援センター」への登録を促進するとともに、民間団体による出会いイベント等の開催支援や、婚活に役立つセミナー、妊娠・出産を含めた人生設計を考える講座等を開催します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の正規雇用化の促進 (国と連携し、非正規雇用労働者のキャリアアップ等に取り組む事業者に対する支援の実施等)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て期の女性の継続雇用の促進 (国と連携し、仕事と家庭の両立支援に取り組む事業者に対する支援の実施等)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の出会いの機会の拡大 (民間団体等による出会いイベントの開催支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>婚活セミナー・講座の開催 (コミュニケーション能力向上セミナーや人生設計支援講座等の開催)</li> </ul>

②安心して子どもを産み育てられる環境づくり

だれもが安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期にわたって包括的な支援を行うワンストップ拠点「(仮称)子育て支援センター」を設置し、切れ目のない支援を行うとともに、病児・病後児保育施設の増設や留守家庭児童学級の開所時間の延長を行うなど、子育て環境の向上に取り組みます。

加えて、妊産婦や乳幼児に対する適時適切な保健医療サービスの提供を充実するとともに、夜間小児救急医療体制の強化に取り組みます。

さらに、子どもが欲しいと願う人が妊娠できるよう、不妊治療に対する支援の充実を図ります。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産・育児総合支援体制の構築 （「(仮称)子育て支援センター」の設置、妊娠・出産・育児に関する情報を分かりやすく発信する子育て応援サイトの開設）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育サービスの充実 （病児・病後児保育施設の増設、延長保育、一時預かり事業等）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童対策の充実 （留守家庭児童学級の開所時間延長）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭の外出支援 （赤ちゃんの駅整備・拡充の促進）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互援助活動の支援と子育て親子の交流促進 （ファミリーサポートセンター、子育てサロンの運営等）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の積極的な家事育児への参加促進 （イクメンパパ応援料理教室等の開催）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・産科医等の確保 （医師等に分娩手当を支給している医療機関への支援）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかな子どもの成長・発達への支援と母子保健の充実 （乳幼児健診、母子保健推進員による乳幼児家庭訪問等）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児救急医療体制の充実 （夜間小児救急医療体制の強化）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療に対する支援の充実 （一般不妊治療への助成、特定不妊治療への助成制度創設）</li> </ul>

### ③子育て家庭に対する経済的支援

本市が実施した「結婚・出産・子育てに関する市民アンケート調査」の結果によると、理想の子どもの数を持たない理由は経済的理由が最も多いことから、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費助成制度の拡充や多子世帯への支援の充実を図ります。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの医療費に対する支援拡充 （助成対象の拡大）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の経済的負担軽減の充実 （出産祝品の贈呈）</li> </ul>

- ・多子世帯の経済的負担軽減の充実  
(保育料等軽減に係る所得制限の見直し)

## (2)「学ぶなら防府」の実現

### ①地域とともにある学校づくりの推進

子どもの豊かな心とたくましい身体を育み、小中学校9年間を通して子どもの育ちを支援するため、コミュニティ・スクールのさらなる充実や、校種を超えたつながりづくりを進めます。また、土曜授業や土曜学習「菅公みらい塾」、放課後子ども教室等を通して、多くの地域人材の参画を図り、地域総がかりによる学校支援体制を構築します。

取組内容等
・コミュニティ・スクールの機能充実 (CSコンダクターの配置、学校運営協議会の活性化)
・校種間連携・小中一貫教育の推進 (小・中連携活動の充実)
・学校、家庭、地域の協働による土曜授業の実施 (土曜授業の企画運営の充実)
・地域の豊かな教育資源を活かした学習プログラムの充実 (土曜学習「菅公みらい塾」、放課後子ども教室の実施)

### ②次代を拓く児童生徒の「学ぶ力」の育成

次代をたくましく生き抜く児童生徒を育てるため、学力評価システムの充実や定期的な学校訪問による授業改善等により子どもたちの学力向上を図ります。さらに、大学との連携によるICT機器を活用した主体的・協働的な学びを推進します。

取組内容等
・確かな学力の育成 (学力評価システムの充実、学校力向上スーパーバイザーの学校訪問による授業改善支援)
・社会の変化に対応した教育の充実 (ICT機器を活用した主体的・協働的な学びの推進)
・学びの支援体制の充実 (スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・特別支援教育推進員の配置)

## 【基本目標4】 元みなぎるコンパクトシティの形成

### 基本的方向

- 本市の中心市街地では、住宅や店舗等の郊外立地が進み、空洞化・低密度化が進展していることから、人口減少時代に対応したコンパクトなまちの形成に向けて、活力ある都市核づくりに取り組んでいくことが重要です。

このため、商業、文化、教育などの都市の生活を支える機能の中心市街地への集積や中心市街地と融合した歴史文化資産等の整備などにより、活力ある都市核を形成するとともに、都市核と各地域が有機的に繋がった交通ネットワーク形成を進めます。

- 本市においては、概ね小学校区単位ごと15地域に、地域の課題や活動を自主的に担う、地縁的な結びつきの強い地域コミュニティが形成されていますが、今後さらに人口減少が進んでいく中で、個人と地域社会との関わりが弱まり、担い手が減少するなど、地域コミュニティの活力の喪失が課題となっています。特に、市周辺の中山間地域等における人口減少・少子高齢化の進行は顕著であり、活力の維持に向けた取組を進めていくことが急務となっています。

このため、小学校区単位を基盤としている本市の特色を活かして、学校を核とした地域づくりや多世代家族の形成を推進していくとともに、中山間地域等においては、特色ある教育の展開や若い世帯を増やす定住環境の整備など、人口減少を克服していく地域創生の第一歩となる生活拠点の活性化を推進します。

- 本市の老年人口は、平成22年（2010年）には約3万人でしたが、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）には、約3万5千人になると予測されます。

高齢者が安心して住みなれた地域で、自分らしく、充実した生活を送ることができる、思いやりと支え合いの地域社会が形成されるよう、各地域の実情に応じた医療・介護・福祉との連携による、地域包括ケアシステムの構築を進めます。

- 本市は、今後、人口減少・少子高齢化等による税収の低下や社会保障費の増大が見込まれる中、公共施設やインフラ施設の維持補修・更新の需要が高まることから、財源確保が困難になることが予測されます。

本市が有するストックや人材など、限られた資源の効率的な利活用を図るため、公共施設マネジメントや空き家対策、自助・共助を担う人材の育成、多様な都市間連携等を進めます。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

※KPIは未掲載です。

(1) 活力ある都市核づくりと地域を繋ぐ交通ネットワーク形成

①活力のある都市核づくりの推進

将来の持続可能なまちの発展を牽引する都市核の形成に向け、魅力ある商店街づくりや新たな事業所等の誘致、観光需要の拡大に向けた歴史的文化資産を活かしたまち並み形成、新庁舎等の整備など、中心市街地への都市機能の充実を進め、にぎわいの創出を図ります。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある商店街づくりや新たな事業所等の誘致 (空き店舗を活用した新規出店者やまちなか店舗改装等への支援、まちづくり防府等が実施するまちなか活性化の取組への支援、駅周辺施設等における誘客イベントの実施)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地と融合した歴史的文化資産等の整備 (宮市・三田尻地区における電線類地下埋設等の高質空間形成施設の整備、史跡萩往還三田尻御茶屋の庭園や山頭火ふるさと館等の整備)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光まちづくりプラットフォームの整備（再掲） (観光情報や観光商品を一元管理するワンストップ窓口の整備)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市核づくりに資する新庁舎等の整備 (新庁舎の整備、公会堂・文化福祉会館の将来構想の策定と対策の実施)</li> </ul>

②都市核と地域を繋ぐ交通ネットワーク形成

バス路線の基点となっている防府駅周辺の中心部と各地域との有機的な交通ネットワークを形成するため、幹線となるバス路線の確保・活性化を図るとともに、幹線との接続や地域内の生活圏づくりに資する生活交通サービスの充実を進めます。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>幹となる生活バス路線の確保・活性化と鉄道の利便性向上 (市内完結路線及び広域路線への支援、交通事業者との連携による利用促進イベント等の実施、JRへの駅バリアフリー化等の要望の実施)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>離島航路の経営安定化対策の推進 (有限会社野島海運への運航支援、レインボーあかねのクルーズへの活用支援)</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に即した生活交通サービスの充実 （各地域内でのデマンドタクシー等によるフィーダー交通（支線）の導入、高齢者へのバス・タクシー運賃への支援）</li> </ul>
---

## （２）地域コミュニティの活性化

### ①学校を核とした地域づくりと多世代家族形成の推進

地域の宝である子ども達を中心とする地域づくりを推進するため、学校運営に住民や地域の団体の参画を得るための環境を整備し、特色ある学校教育を展開するとともに、地域コミュニティでの様々な主体的活動を支援します。

また、3世代同居・近居への支援制度を創設することにより、世代間で互いに支えあいながら生活する多世代家族の形成を促進し、高齢者の孤立を防ぐとともに、家庭内教育力の向上や子育て支援等の家族の絆の再生を図ります。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある開かれた学校づくり （コミュニティ・スクールの機能充実、校種間連携・小中一貫教育の推進、学校・家庭・地域の協働による土曜授業の実施、放課後子ども教室の拡充、生涯学習・学校教育等の充実を目指した多様な分野の人材を結集する人材バンクの創設）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体の主体的な活動への支援 （新たな地域コミュニティ組織づくりに向けた支援、各地区の拠点となる自治会館の整備支援、ごみの分別や通学時の子どもの見守り、自主防災組織活動等への支援）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内教育力の向上等による家族の絆の再生を目指した、3世代の同居・近居への支援制度の創設</li> </ul>

### ②中山間地域等におけるコミュニティの活性化

人口減少・少子高齢化の著しい中山間地域等の活性化に向けた、先導的な位置づけとして、平成27年度から小中一貫教育の推進に着手している富海地域においては、今後、3世代住宅の整備等による定住環境の向上、伝統工芸「藍染」による地域活性化など、地域コミュニティの活力の創生に向けた取組を進めます。

また、向島地域、小野地域、野島地域においても、地域との連携・協働により、地域の拠点づくりや活力ある学校づくりを推進するとともに、地域おこし協力隊の導入などにより、地域コミュニティの活性化を進めます。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【富海地域】小中一貫教育の推進 (市内全域からの児童生徒受入れとその支援、指導専門員の配置、ICT機器の活用等による英語教育の充実、空き教室の有効活用)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【富海地域】都市・農村交流の推進と定住環境の整備 (地域おこし協力隊の活動支援、3世代住宅の整備、3世代同居・近居への支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【富海地域】伝統工芸「藍染」による地域活性化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【富海地域】ビーチサッカーと富海海水浴場による地域活性化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【富海地域】歴史的資源や美しい自然を活かした観光振興 (清水家住宅主屋、入本屋宅跡伊藤・井上両公上陸遺跡碑、飛舟問屋「大和屋 政助」の土蔵、富海宿本陣の表門、南画家「小田 海儼」生誕地の碑等の幕末・維新関連の史跡の一体的活用に向けた整備推進)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【向島地域】地域の拠点形成と活力ある学校づくり (向島公民館の建替、ICT機器の活用等による「向島小学校・複式学級」における授業の充実等)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【小野地域】地域の拠点形成づくり (小野公民館の建替推進、「地域の夢プラン」作成の支援等)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【野島地域】島外からの交流活動の促進等による活力創出 (交流イベント等への支援、野島小・中学校への校区外通学支援、離島航路運賃への支援等)</li> </ul>

### (3) 安心して暮らせる基盤づくりの推進

#### ①地域包括ケアシステムの構築

介護予防や認知症施策の推進など、高齢者が安心して住み慣れたところで自分らしく充実した生活が送れるよう、医療・介護・福祉が一体的に提供される体制の構築に取り組みます。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の推進 (1次・2次予防事業の実施、介護予防・日常生活支援総合事業の実施)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症施策の推進 (「地域、職域、教育現場」での講座の開催等による認知症サポーターの養成、認知症初期集中支援チームの設置による包括的・集中的な初期支援の実施)</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の充実 (個別、圏域別、全市的、それぞれのレベルに応じた重層的な地域ケア会議の充実)</li> </ul>
---

(4) 次代に繋ぐ効率的な都市基盤の形成

①ストックマネジメントの強化

公共施設マネジメントを分野横断的に推進するとともに、年々増加する空き家の適正管理と利活用を図るために、総合的な空き家対策を推進します。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設マネジメントの推進 (再編・長寿命化・効率化による公共施設の最適化の推進)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策の推進 (管理不全な空き家の適切な指導、所有者への適正管理の啓発、空き家を有効に利活用するための取組の実施)</li> </ul>

②自助・共助によるまちの活性化を支える人材づくり

市民活動団体の組織力の向上、協働を推進する仕組みの拡充など、自助・共助によるまちの活性化を支える人材づくりやまちづくりを進めます。

取組内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体の組織力の向上 (ボランティアリーダー・ボランティアコーディネーターの養成、登録紹介制度の構築等による市民・市民活動団体のマッチング支援)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働を推進する仕組みの拡充 (協働事業提案制度の構築と制度の効果的な運用、市民への説明会・報告会等の実施による制度の活用促進)</li> </ul>

③産・学・金との連携や広域連携の推進

産業界や教育機関、金融機関等の「知的」「人的」「物的」財産を有効に活用した協働による連携事業を積極的に展開するとともに、産業・文化・観光などの多様な都市間連携を進めます。

取組内容等
• 大学や企業との連携の推進 (県内大学との共同研究等の実施、地元企業との協働の取組の実施)
• 多様な都市間連携の推進 (近隣都市(山口市・周南市・宇部市等)との都市圏づくりの推進、観光・防災等の施策に応じた様々な連携)

### Ⅲ 総合戦略の推進体制等

#### 1 総合戦略の推進体制

総合戦略の進捗管理等は毎年度行うものとし、市長を本部長とする「(仮称)防府市まち・ひと・しごと創生推進本部」(庁内組織)を設置するとともに、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア及び市民の代表で構成する外部の有識者会議から意見をいただきながら、総合戦略の推進と検証を行っていきます。

#### 2 総合戦略の進行管理

総合戦略の進行管理には、基本目標ごとに明確な数値目標を定めるとともに、その基本目標を達成するための施策に係るKPI(重要業績評価指標)を設定しています。そして、計画を継続的に改善するために、PDCAサイクルを実施して、きめ細かな進捗管理を行います。